

## トリニダード・トバゴ月間情勢報告

(2023年7月)

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

7月のトリニダード・トバゴ(TT)の内政、経済、外交月間報告は以下の通り。

### 1 概況

- 首都ポート・オブ・スペインで、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）から難民認定された者を含む約200名のベネズエラ移民が不法滞在者として拘束された。
- TT政府は、早ければ本年9月より移民の子どもの初等教育システムへの受け入れを目指すと発表。
- ヤング・エネルギー大臣とラムディン・スリナム外務大臣は、両国の炭化水素産業の発展及びエネルギー安全保障に関する継続的な協力に関する覚書に署名した。
- 豪州企業ウッドサイド社は、TTの大西洋深海鉱区（TTDAA）を政府に返還すると発表。
- TTの対EU輸出額は、21年の20億米ドルから22年には約3倍の58.8億米ドルに増加した。
- 第45回カリコム首脳会合がTTの首都ポート・オブ・スペインで開催された。

### 2 内政

- （3日報道）TT警察庁の公式統計によると、今年に入ってから6月末時点までに合計286件の殺人事件が発生。昨年同時期の259件に比べ、27件増加した。
- （7日、11日、15日報道）首都ポート・オブ・スペインで、約200名のベネズエラ移民が不法滞在者として拘束された。中には国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）から難民認定された者もあり、国際法に反する難民の拘留や自国への強制送還に関してUNHCRや人権団体等が相次いで懸念を示している。
- （12日報道）トリニダード・トバゴで初めてサル痘の感染者が確認された。
- （14日報道）TT政府は、早ければ本年9月より移民の子どもの初等教育システムへの受け入れを目指すと発表。現在TTでは移民の子どもの公立学校への入学が認められておらず、国際移住機関の調査によると、TTに住むベネズエラ移民の子どもの6割以上が教育を受けられていない。

### 3 経済

- （1日報道）中銀によると、23年第1四半期には国内経済は緩やかな成長を記録し、エネルギー部門では液化天然ガスとメタノールの生産量が昨年同時期に比べて増加。国内インフレ率は低下傾向にある。
- （1日報道）米国は、TTの校内暴力防止の支援のため4万米ドルを供与した。
- （5日報道）第45回カリコム首脳会合にて、ローリー首相及びハインズ国家安全保障大臣は、米国麻薬取締局（DEA）とカリコム地域の安全保障強化について会談。同会談は、6月にハリス米国副大統領がバハマでカリコム首脳との会合時に発表した、同地域の犯罪及び気候変動対策における1億米ドルの投資に関するフォローアップとして実施された。
- （8日報道）ヤング・エネルギー大臣とラムディン・スリナム外務大臣は、両国の炭化水素産業の発展及びエネルギー安全保障に関する継続的な協力に関する覚書に署名した。更に、ヤング大臣はフィンランド大使と会談し、TTの石油化学製品を通じてフィンランドを始めとするヨーロッパ諸国のエネルギー安全保障強化の可能性について議論した。
- （13日報道）豪州企業ウッドサイド社は、高い開発コストを理由にTTの大西洋深海鉦区（TTDAA）を政府に返還すると発表。同社はシェル社とのジョイントベンチャーにより、同鉦区の65%の権益を保有している。
- （20日報道）ヤング・エネルギー大臣は、丸紅及び丸紅のTT発電事業会社パワージェンの関係者と対談し、発電効率の向上や天然ガス消費、温室効果ガス排出の削減に関して議論した。
- （27日報道）ウクライナ情勢によりLNG、アンモニア等のエネルギー価格が大幅に上昇したことを受け、TTの対EU輸出額は、21年の20億米ドルから22年には約3倍の58.8億米ドルに増加した。

### 4 外交

- （1～11日報道）3～5日、第45回カリコム首脳会合がTTの首都ポートオブ・スペインで開催された。議長はスケリット・ドミニカ首相。本会合には、グテーレス国連事務総長、プリンケン米国国務省国務長官、韓恵洙・韓国首相、華春瑩・中国外務次官補、カガメ・ルワンダ共和国大統領、ジャベールCOP28議長代理等も特別来賓として出席した。
- （13日報道）TTカーニバルのバンド「キネティック・マス」は2024年カーニバルの衣装を発表。「ようこそ」というテーマを基に、在TT日本国大使館と合同で日本仕様の衣装のデザインを考案した。